

経営比較分析表（平成28年度決算）

愛媛県宇和島市 宇和島市立津島病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	-	透	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
78,755	8,395	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

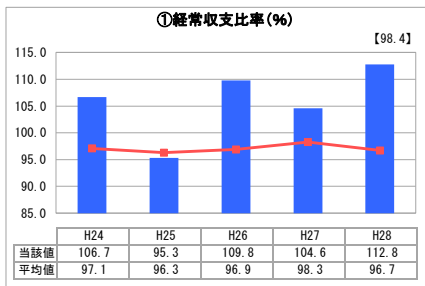
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
88	45	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	133
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
60	45	105

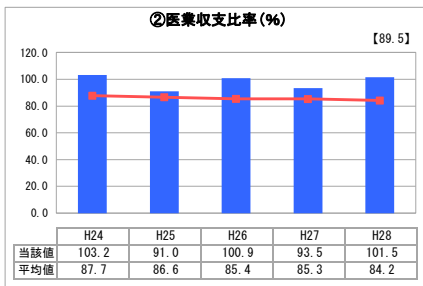
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

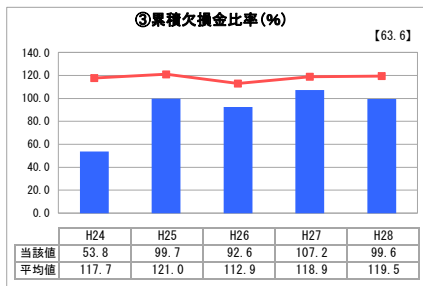
1. 経営の健全性・効率性



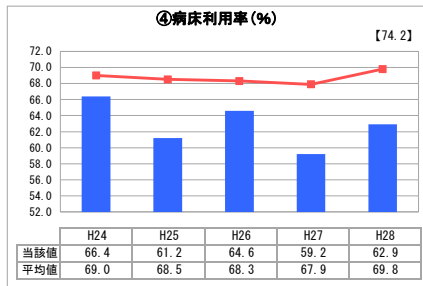
「経常損益」



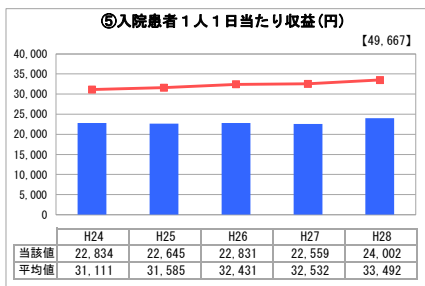
「医業損益」



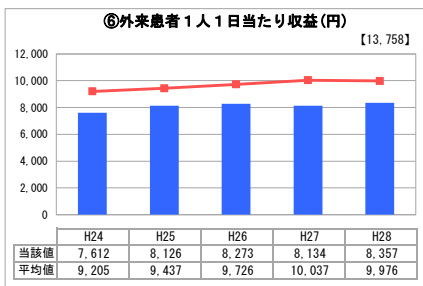
「累積欠損」



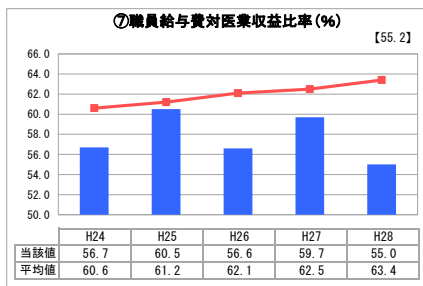
「施設の効率性」



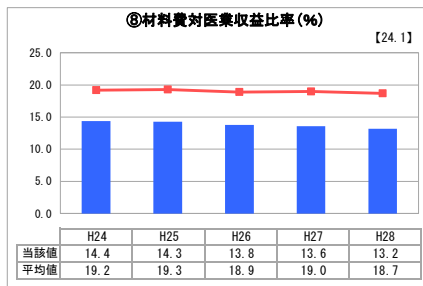
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

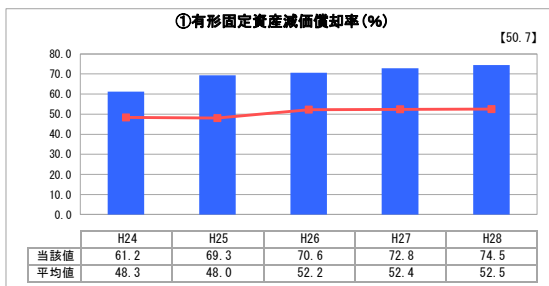


「費用の効率性①」

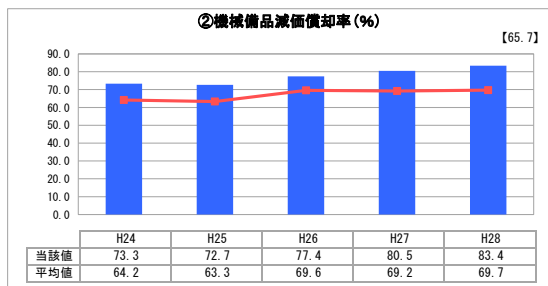


「費用の効率性②」

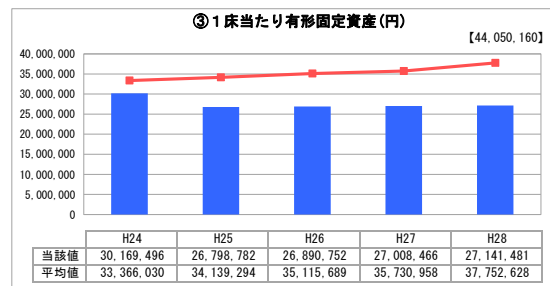
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

人口減少・少子高齢化が進む津島地区において、診療科目を14科備え、100床を超える入院機能を持つ総合的医療機関は本院のみである。また、救急患者の受入・在宅復帰に向けたリハビリテーション・退院後の訪問診療等により、住民が地域内で安心して医療・療養を受けられるよう体制を整備している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

慢性的な医師・看護師不足により一般病床88床のうち28床を休床している。その再開の見通しが立たず、病床利用率は低調であるもの土曜診療の開始や地域包括ケア病床の導入をはじめとする経営改善への取組により入院患者数は増加傾向であり、医業収益の増加に寄与している。また、退職者補充を嘱託・臨時職員の任用で行うなど人件費を中心に経費削減に努めた結果、費用の効率性も向上している。しかしながら、長年にわたる累積赤字は多額であることに加え、会計制度改正により平成25年度より計上不足分の退職手当引当金を分割計上することになったため欠損金は10億円を超え、単年度の解消は困難な状態にある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産の全般にわたり、老朽化が進んでいる。特に、構築物・機械備品については80%を超えており早急な更新が必要だが、投資できる資金が限られているため、優先順位を定めて小幅に更新せざるをえない。1床あたりの有形固定資産額は、類似病院の平均値を下回っており、過大投資とはなっていない。

全体総括

経営改善への取組等により経営数値は概ね好転しているが、医師等が慢性的に不足する中で多額の累積欠損金を抱えており、今後の経営は決して楽観できる状況ではない。累積欠損金の解消や老朽化資産の計画的更新を実現するためには、更なる経営改善・不足する医師等の確保に向けた取組強化などが求められており、安定的に利益を出せる経営体制の早急な確立が必要である。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。